

寄せられた意見

No. 204

受付日	H18.12.20	年齢	60歳	居住 市町村名	中川町
件名					

天塩川流域委員会御中

平成18年12月20日

中川町 XXXXXXXXXX (60歳)

私は、川縁にたつて水の流れを見つめておくことが好きです。私の町を流れる天塩川は、私にとつての癒しの空間でもあります。この美しい空間、自然環境の保全は、私たちの大切な役割であり、決して疎かにしてはいけません。

しかし、また一方では、地域住民の生活、財産を守ることも大変重要なものであると考えております。

天塩川流域の自然と私たちの生活は、切っても切れない関係にあり、一体のものであります。天塩川の恵みにより私たちの生活は支えられ、天塩川のもたらす災害から私たちの生活を守ってきました。天塩川流域の豊かな自然は守らなければならぬものであることは言うまでもありませんが、そのことによつて私たちの生活が脅かされることがあってはなりません。

私たちは、自然の猛威に立ち向かいながら、安心して生活ができる環境づくりに努力してまいりましたが、その過程で自然が大きく破壊されるという過ちを何回か繰り返しました。しかし、全国の多くの事例が示すように、このような経験の中から学び、自然と折り合いをつけ、自然環境の保全を図りながら、その地域の風景として、地域住民の癒しの空間としてつくりあげられ、そして現在をつくりあげられつつあることも事実であります。

天塩川流域の住民の生活を守るためには、ダム建設は、是非とも必要なものではありません。このことは、近年の洪水事例や異常気象の事例から見ても明らかであります。

委員会の結論を早期に出し、そこに住む人々の暮らしを守り、皆が安心して暮らせる環境をつくることも、川を管理し、ダムを管理する人たちと地域が協力して知恵を出し合い、天塩川を自然豊かな美しい空間、癒される空間として育てていく行動を今から進めて行くことが必要であると考えます。